

LOM広報誌 はすかつぶ

真に明るい未来の創造
—共に歩む心を一つに—

2014年7月17日発行
発行所:一般社団法人 苫小牧青年会議所
苫小牧市表町1丁目1番13号
TEL 0144-34-3627
FAX 0144-32-9762
URL:http://toma-jc.jp/
E-mail:Info@toma-jc.jp/



第62代理事長
ひろさわ たかし
廣澤 隆

理事長挨拶

本年度の折り返し地点

苫小牧青年会議所OB会 玉川会長を始めと致します先輩諸氏の皆様には、本年の活動と運動に対しまして、深いご理解ご協力を頂き、会を代表して厚く御礼申し上げます。

この単年度で変わる組織の中で、その年の意義と理由を見出し、独自性と実行力を信じ運動展開する中、全ての下準備や現役会員の意識・知識向上が前半戦で得られる結果となり、加速度を増して後半戦は対外に向けた活動と運動展開を遂行するに至りました。

昨年当会は記念すべき60周年を向かえ、今までの活動と運動をしっかり評価・総括し、新しい時代の幕開けとしての1年である事を年度当初に掲げました。今後、この街や市民の意識はどのようにあるべきか、どこを目指し導く事が必要かを、共生の架け橋の精神を持って考え、夢や希望を皆で願えば必ず形になる事を体現する運動を実行して参ります。

結びに、この一年間が光輝く素晴らしいものになるよう、全身全霊をかけ取り組んで参りますので、先輩諸氏をはじめ、多くの皆様には今まで以上のご厚情をいただきますようお願い致します。



前期アカデミー
塾生バッチ授与式



札幌JCアイスホッケー交流戦



直前理事長
いべ なおひろ
伊部 尚宏

直前理事長挨拶

苫小牧青年会議所OB会の先輩諸氏の皆様には、日頃より現役の方の活動に際しご支援ご協力頂いていることに対し厚く御礼申し上げます。

本年度は直前理事長として昨年度のお礼も兼ねて各地青年会議所の周年式典に出席させて頂いていますが、この青年会議所という団体が各地域で地域に根ざし、そして地域に広く認知されている事を改めて感じました。今、現役会員がこうした環境の中で活動できるのは、先輩諸氏が築いてこられた歴史と伝統があるからです。

この頂いた財産を更に大きなものにする為に、私たち現役会員は地域の未来を見据え、今を精一杯努力していくことでOBの皆様や地域に恩返しできればと思います。未熟な私たちですが今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



3月例会 直前理事長挨拶



伊達JC創立45周年記念式典・懇親会にて

Junior Chamber International Tomakomai

一般社団法人 苫小牧青年会議所 ホームページ&FaceBookのご案内

いつも苫小牧青年会議所ホームページやフェイスブックをご覧いただきありがとうございます。ホームページにおいては今後も皆様のご協力の下に迅速かつ正確な情報発信を心掛けて運営を行って参ります。フェイスブックはトップページの写真を変更させていただきます。今後も活動の様子を随時発信して行きますのでご覧になって下さい。

ホームページご紹介



ホームページは
コチラから



FaceBookご紹介



FaceBookは
コチラから



今後の運営にもご期待下さい!!
LOM運営委員会一同

第59回 とまこまい港まつり

～～地域活性委員会より～～

※写真は2013年のものです



…ご案内…

今年も苫小牧青年会議所は港まつりに参画致します。今回も地域の皆様と共に創りあげのおまつり事業と致しますので、是非ともご協力をよろしくお願い致します!!

- ★日程
- 8月1日(金)運営時間12:00~19:00
- 2日(土)運営時間11:00~19:00
- 3日(日)運営時間11:00~18:00
- ★会場 苫小牧市若草中央公園

前期活動報告

各種事業に参加して参りました!!



京都会議にて



新年交礼会にて



第9回道南エリアスポーツ大会優勝
2連覇達成!!



第48回とまこまい
スケートまつり
JCブースにて



浦河JC40周年記念式典にて



第3回北海道JCフォーラムにて

HPコンテンツ&バナーのご紹介



◀例会・事業報告
今後の活動にも
ご期待ください!

OB会員主体の
コンテンツ♪

▶OB諸氏の活動の歴史を
掲載しております



◀日本・地区協のバナーも是非
ご覧になってみて下さい

後期スケジュール

今後の日程

- 7月19日(土)~20日(日) サマーコンファレンス(横浜)
- 8月1日(金)~3日(日) 第59回とまこまい港まつり
- 8月24日(日) サッカー同好会決勝リーグ(千歳)
- 8月31日(日) 児童虐待防止市民集会(苫小牧)
- 9月5日(金)~7日(日) 第63回地区会員大会(小樽)
- 10月9日(木)~12日(日) 全国会員大会(松山)
- 11月24日(月)~28日(金) JCI世界大会(ドイツ)
- 12月2日(火) 卒業式
- 毎月♪ 例会・ボウリング会議所

同好会のご案内

じゃがいもクラブ



日頃より当同好会活動にご協力とご尽力を賜り、ありがとうございます。本年度は、5月より年4回の例会を行い年間最優秀賞、じゃが選手権(マッチプレー)等の名誉の為にメンバーはマナーとルールを重んじ活動しております。また9月(予定)には姉妹JCの八戸を苫小牧に迎えて交流戦を行います。本年度は60名の皆様にご入会いただきました。今後も、先輩諸氏からのご指導を後輩へと引き継ぎ、伝統を継承して参ります。

アイスホッケー同好会



去る、3月16日に八戸JC交流戦遠征を、3月29日に札幌JC交流戦を無事終える事ができました。これもOB会員の皆様からの、ご理解とご協力により成しとげられました。しかし同好会員減少が進み、八戸JC様並びに札幌JC様との交流が絶たれようとしています。どうか本同好会へ参加とご協力をよろしくお願い致します。

ボウリング会議所



6月24日に開催されましたボウリングフェスティバルも盛況に終わり、ボウリングの魅力に加え、OB諸兄と現役メンバーの交流が盛んに行われました。この場をお借りして改めて皆様にボウリングの魅力を味わって頂きたく、まだまだ会員を募集しております。ぜひとも一度、足をお運びください心からお待ち申し上げております。

サッカー同好会



ブラジルワールド杯で盛り上がっているサッカーですが、我々サッカー同好会の活動も昨年同様に予選を2連勝で突破し、勢いになっております。なかなかサッカーとなると敷居が高いと感じられるのか、未経験者には敬遠されがちではありますが、試合は10~15分ハーフの試合であり、交代も自由となっています。太陽の下、芝生の上を駆け回るのはとても気持ちよく良い汗をかくことができますので、是非とも1度参加をしてみてください。



次年度理事長予定者挨拶

次年度理事長予定者 **青山 直樹**

私は2002年の入会から素晴らしい先輩や仲間のおかげで、今日の自分があると感謝しております。振り返ってみると、この活動を通じ大切な仲間を得ることが出来、達成感や感動、経験から、その仲間達のお蔭で自己成長が出来たと胸を張って言えるようになりました。また、仲間以外にも家族、会社、地域に支えられ自分があることを実感できました。この事から最終年度、私の意識を変え、成長を与えてくれた青年会議所に恩返しをして卒業を迎えたいと思うようになりました。理事長という大役が自分に務まるのか不安ですが、周りの沢山の方々に支えられていることを忘れず、勇気をもって一歩をメンバーと共に踏み出したいと思っております。その第一歩は、昔から現在まで変わらず脈々と受け継がれております「明るい豊かな社会」の創造と「まちづくり」です。これは私達メンバーの成長から始まると考えて間違いありません。この素晴らしい可能性を秘めた苫小牧の未来を考え、夢や可能性を示し実現へ向け、苫小牧青年会議所の先頭となりメンバー全員と共に成長し活動、発信をしていくことをお誓いし抱負とさせていただきます。



最後になりますが敬愛なるOBの皆様には引き続きご指導、ご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



OB会長挨拶

OB会長 **玉川 健仁**

昨年は、苫小牧青年会議所60周年の節目の年を終え、新たな一歩を踏み出す年となりました。

廣澤隆理事長率いる新生苫小牧JCの皆さんは、全員結束して新しい未来への前進を志して下さい。住みよい苫小牧作りは君達です。

この度、OB会長を仰せつかりました玉川健仁です。よろしくお願い申し上げます。早いもので、OB28日目古参になってしまいました。OB会も470名を数え、大所帯の中、皆さんの交流の場の提供、また各人の冠婚葬祭のお手伝いが仕事でしょう。OB諸兄には、年5回程度の交流の場があります。ひさしぶりに出てみようか、現役JCメンバーの顔は、どんな顔か出て、見て下さい。私より年上の顔はわかるのですが、40、50代の人達の顔が、良くわかりません。街で会ったら、声をかけて下さい。失礼が多々あるかもしれません。その時は、お許し下さい。

さて、現役メンバー諸君!心強いOBがたくさんいます。世代の流れに沿った運動と共に未来への挑戦を忘れず、大きく羽ばたいてほしい。大勢の応援団がいます。今年の活躍を期待しています。

尚、自身の体調管理、家族の皆さんの健康管理を充分気をつけて下さい。



一般社団法人 苫小牧青年会議所 クイズ Quiz

※ヒントはこの「はすかつぶ」内に!!

第1問 現在の会員数は何名でしょうか?

第2問 前期までの会員の内、女性会員は何名でしょうか?

第3問 後期新入会員は何名でしょうか?

第4問 現在の委員会数をお答えください。

第5問 委員会名当てクイズ。『次世代○○委員会』○に入る文字をお答えください。

第6問 今年の港まつりの開催日は何月何日でしょうか?

第7問 次年度理事長予定者の趣味・特技は何でしょうか?

■答えは裏面に!

【新入会員紹介】



ないじょう たかのり
内城 隆則

・勤務先 (有)内城電気工事
・役職 取締役
・生年月日(年齢)
昭和50年7月27日 38歳
・一言
がんばります!



うえだ ひろし
上田 浩司

・勤務先 司法書士上田事務所
・役職 代表
・生年月日(年齢)
昭和53年11月29日 35歳
・一言
会の活動を通して自分の能力のレベルUPが出来るようにがんばります。



ふくし ゆうぞう
福士 雄三

・勤務先 苫小牧ケーブルテレビ
・役職 営業
・生年月日(年齢)
昭和59年6月28日 30歳
・一言
がんばります。



たかはし さとし
高橋 智

・勤務先 大翔興業(株)
・役職 常務取締役
・生年月日(年齢)
昭和52年10月22日 36歳
・一言
がんばります。よろしくお願ひ致します。



まきの つよし
牧野 徹志

・勤務先 牧野建装
・役職 代表
・生年月日(年齢)
昭和52年10月10日 36歳
・一言
頑張ります!



たきかわ あきひろ
瀧川 彰洋

・勤務先 苫小牧信用金庫
・役職 総務企画部主任
・生年月日(年齢)
昭和56年4月18日 33歳
・一言
地元苫小牧の為に精一杯頑張ります!



塾長挨拶

ふじ じゅんいち
塾長 藤 淳一

前期アカデミー塾生7名は半年間、「本質を捉えた真のJAYCEE」と成るべく多くの修練を積んで参りました。中でも本年度は新たな試みとしてOBの皆様を招いての講師塾会議を前期期間に3回開催致しました。岩倉博文先輩をはじめ敬愛する先輩諸兄の皆様と同じテーブルで議論を交わすことにより塾生全員の「まちづくり」に対する意識が芽生えたと感じております。ご協力いただいたOBの皆様、本当にありがとうございました。半年間の集大成としての担当例会『支えてくれている人達への感謝』も無事に終えることができ、塾生全員の主語が「自分、から」仲間、へと変化していく成長を見届けることができました。7月入会の後期塾生に対してもスタッフ一同変わらぬ愛情を注ぎ、未来へ繋ぐJAYCEEを全力でお世話させていただきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



岩倉市長を講師に招いての塾会議



アカデミー塾講師会議

会員拡大PR Junior Chamber International Tomakomai



前期アカデミー塾担当例会

平素より私たち苫小牧青年会議所に多大なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも、「明るい豊かなまち」の実現に向かう為に、自らが先頭に立って、輝かしき苫小牧の未来を共に思い描くメンバーの拡大が重要課題であることに変わりはありません。一番の理解者でありますOBの皆様方にはひとりでも多くのメンバーをご紹介頂きたく、入会候補者情報がございましたら下記までご連絡頂けますようお願い申し上げます。

会員拡大委員会 錦戸 (携帯電話 090-4534-7641)

The image shows three promotional pamphlets for JCI Tomakomai. The left pamphlet is titled '苫小牧青年会議所とは' (What is Tomakomai Junior Chamber International?) and describes the organization's goals and activities. The middle pamphlet is titled '入会案内' (Joining Information) and provides details about the membership process, including fees and benefits. The right pamphlet is titled 'JCIの強み' (Strengths of JCI) and highlights the advantages of being a member, such as networking and professional development opportunities.

会員拡大委員会では、拡大ツールとして3種類のパンフレットを作成致しました。



前期アカデミー生による講師を招いての塾会議



アカデミー塾会議風景

★7月の答え: (問1)85名。今年度会員拡大委員会は『本気で』で会員拡大に取り組んでいます。(問2)2名。拡大委員会ではLOMIに新風を吹き込むため女性の会員も大募集。OB会員の中には5名の卒業生がいます。(問3)6名。多くの仲間が新たに入会致しました。今後の活躍に期待ください。(問4)7委員会。『明るい豊かなまち』を目指し、各委員会が奮闘中です。(問5)政策。児童虐待防止について、8月に事業を開始致します。(問6)8月1日(金)~3日(日)の間、地域活性化委員会を中心とした、苫小牧を盛り上げます。(問7)野球。来年を切りめ目標の下、地域のために活動致します。

2014年 前期例会・事業報告

LOM運営委員会



委員長 たんじ ひであき
丹治 秀章

組織の下支えとなり運営を円滑に行うべく、諸会議の準備、設営、運営、庶務に関する事項全般の職務を遂行して参りました。また、各委員会の情報共有の場として委員会幹事を集めた幹事会を開催し、各委員会が活動に集中できるよう努め、内外へ様々なツールを用いて情報発信を行って参りました。今後も更なる組織運営の円滑さを求め委員会において検証し、更には情報発信の新たな可能性を委員会において模索し、より多くの方に周知するよう活動して参ります。



経済人育成委員会



委員長 いしくろ りょういち
石黒 良一

私達が、この苫小牧で活動していく中で、予測できない経済情勢や環境変化に対応していく為には、自らが資質を向上させて行かなければならないと、先ず委員会が経営や財務を学び、そして学んだ中から、経営の基となる理念と基盤で有る財務の重要性をお伝えする為の例会を開催させて頂きました。下期は、様々な業種や職種で身につけた個々の能力と個性を更に発揮し経済活動の先頭に立つ真の経済人を目指す為に更に邁進して参ります。

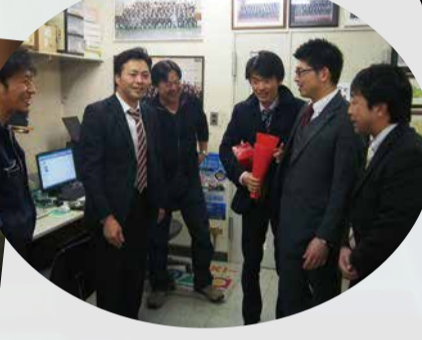


会員拡大委員会



委員長 にしきど だいすけ
錦戸 大輔

今年度「1人1名の会員拡大」による85名の会員拡大を目標に活動を展開しております。2月の担当例会では、会員拡大の重要性とJCの魅力について考え、「1人1名の会員拡大の本質を理解し、当事者意識の醸成を行ないました。またOBの皆様にもご協力を頂き、苫小牧青年会議所PRパンフレットと入会案内パンフレットを作成し、日々の会員拡大活動に活用するとともに、地元企業にも直接訪問させて頂き、青年会議所運動の発信を行っております。残り半年、目標達成に向けメンバー一丸となって会員拡大に邁進して参ります。



地域政策委員会



委員長 かがみ よしのぶ
鏡 吉伸

上期を終わり、苫小牧は日本を代表する世界を牽引できる地域資源があると理解しました。そして潜在性ある地域資源を活かす為には、「地域と市民の参加と連携」が最も大切であると当会として導き出し、それは今も昔も変わらず、これからも変わることのない心随です。また青年会議所の活動は「地域と市民の参加と連携」に、大きな責任を持っていると実感し、例会に参加した多くの方に、ご理解して頂ける機会になったと思います。後半戦も委員会メンバーと共に地域の為に「未来につなぐ希望の道」を創り上げて行きたいと思っております。



次世代政策委員会



委員長 やの まこと
矢農 誠

本年度、次世代政策委員会では児童虐待防止という難しい問題に真っ正面から取り組まさせていただきます。3月例会では児童虐待の実情についてLOMメンバーとともに学び、6月2日にはPTAや民生委員など多くの団体の皆様と児童虐待防止市民集会を開催すべく実行委員会を立ち上げさせていただきます。8月31日(日)13時から総合体育館で講演会を中心とする事業を開催予定ですので、皆様ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



交流渉外委員会



委員長 かせい けんじ
葛西 賢治

交流渉外委員会では「新と真の交流の先に」と言う方針の下、同志や先輩諸氏の皆様との信頼と共生を強固なものにすべく活動して参りました。新年交礼会におきましては、廣澤理事長の門出を勇壮で力強い古武道で表現し、新体制の幕開けを発信させていただきました。八戸交流事業や道南エリアスポーツ大会では各地同志と絆を深め、同時にメンバーの結束を高めて参りました。今後は卒業式、家族会を企画、運営して参る所存です。当委員会では上半期、先輩諸氏の皆様に様々な形でご協力いただきました事、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



地域活性化委員会



委員長 おおつやま たい
大津山 泰斗

2月のスケートまつりでは、4000人近くの来場者にきていただきました。スタッフとしてボランティアを募り、おまつりを遊ぶだけのものではなく、市民が作り上げるものだと感じて頂けたと思います。そして下期からは港まつりとなるまえサンフェスティバルに参加し、子供たちに笑顔と思い出を与えると共に、おまつりという地域振興に対し、市民の更なる意識醸成を図っていきたく考えております。その為にもこの「はすかつぶ」をご覧いただいている皆様のご協力が不可欠です。何卒ご理解ご協力頂きます様お願い致します。

